

## 12/11 ダイアログBAR in 徳島大学 ゲスト:issue+design 寛裕介さん

2008年4月にスタートしたダイアログBARは、これまで2500人を超える人が参加し、様々なつながりと新しい未来をつくってきました。2013年12月から、徳島大学産学官連携推進部、徳島大学地域創生センターとミラツクが協力し、新しいダイアログBARが始まります。

第1回は、「社会の課題を解決するソーシャルデザインの力」をテーマに、『ソーシャルデザイン実践ガイドブック(英治出版)』の著者でありissue+designプロジェクト代表の寛裕介さんが登場します。

様々な立場から同じような関心・課題意識を持った仲間が集まり、その仲間たちとアイデアを具体化し実現するための”つながり”と”協働”が生まれる「ダイアログBAR in 徳島大学」で、多くの方とお会い出来るのを楽しみにしています。

主催: 徳島大学産学官連携推進部 共催: 徳島大学地域創生センター、NPO法人ミラツク

※ ダイアログBAR in 徳島大学は、文部科学省の「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業」(イノベーション対話促進プログラム)として実施されます

<今後のダイアログBAR in 徳島大学の予定>

- 第2回 ゲスト:株式会社和える 代表取締役 矢島里佳さん 場所:徳島大学工業会館
- 第3回 ゲスト:READYFOR? 代表 米良はるかさん 場所:徳島大学工業会館



第一回 2013年12月11日(水)

社会課題を解決する  
ソーシャルデザインの力

ゲストスピーカー

issue+design 寛 裕介

コーディネーター

NPO法人ミラツク 西村 勇也

徳島大学地域創生センター 吉田 敦也

時間 18:30 - 21:00

第二回 2014年1月29日(水)

地域の力を活かす  
ソーシャルビジネスの力

ゲストスピーカー

株式会社和える 矢島 里佳

コーディネーター

NPO法人ミラツク 西村 勇也

徳島大学地域創生センター 吉田 敦也

場所 徳島大学 大塚講堂小ホール

第三回 2014年2月26日(水)

プロジェクトの実行を実現する  
クラウドファンディングの力

ゲストスピーカー

READYFOR? 米良 はるか

コーディネーター

NPO法人ミラツク 西村 勇也

徳島大学地域創生センター 吉田 敦也

参加費 無料

## ● 開催概要

時間: 18:30~21:00(18:20開場)

会場: 徳島大学 大塚講堂小ホール(蔵本キャンパス内)

(アクセス)<http://www.tokushima-u.ac.jp/access/>

参加費: 無料

対象: より良い地域づくり、大学と地域の連携、市民活動、NPO活動、ソーシャルビジネスなどに関心のある方(徳島大学の学生・教職員に限らず、一般の方もご参加いただけます)

定員: 40名(先着順)



詳細: <http://www.tokushima-u.ac.jp/docs/2013112800077/>

申込み: <http://bit.ly/1bSdL8q> (必ずインターネットよりお申し込みください)

内容: ○18:30-19:30 ゲストによるトークセッション(ゲスト: issue+design 代表 笥 裕介さん)

○19:45-21:00 ダイアログセッション(ファシリテーター: NPOミラツク 代表理事 西村勇也)

連絡先: 徳島大学産学官連携推進部 イノベーション対話促進プログラムオフィス

TEL: 088-656-9702、Email: [cr-office@tokushima-u.ac.jp](mailto:cr-office@tokushima-u.ac.jp)



## ● ゲストの紹介

○笥 裕介(かけいゆうすけ)さん      issue+design 代表      <http://issueplusdesign.jp/>

東京大学大学院工学系研究科修了。東京大学大学院在学中より、社会課題をデザインで解決するソーシャルデザイン領域の研究、実践に取り組む。2008年issue+design設立。共著書に、『地域を変えるデザイン』『震災のためにデザインは何が可能か』他。グッドデザイン賞、キッズデザイン賞審査委員長特別賞、日本計画行政学会・学会奨励賞、竹尾デザイン論評賞など受賞多数。

## ● ファシリテーターの紹介

○西村勇也(にしむらゆうや)      NPO法人ミラツク代表理事      <http://emerging-future.org/>

大阪大学大学院にて人間科学(Human Science)の修士を取得。人材育成企業、財団法人日本生産性本部を経て、NPO法人ミラツクを設立。

2008年から始めたダイアログBarの取り組みには2年半で1500人が参加。2011年5月から次世代を担うユースリーダーの育成を目指す”Art of Social Innovation”の取り組みを開始。

2012年11月から社会課題の解決を目指すプロジェクトリーダー向けワークショップ”Design for Social Innovation”の取り組みを開始。

また、2011年よりソーシャルビジネス事業者、NPOリーダーを中心に、大学教員、行政職員、企業CSR、デザイナーなどが加わるソーシャルイノベーションのプラットフォームづくりの取り組みを開始。全国各地で、次世代を担う社会的なリーダー&イノベーターの育成とセクターを超えた協力を生み出すためのマルチステークホルダーの対話の場づくりに取り組む。